

# 2014

公益財団法人 屋久島環境文化財団

活

動報告(平成25年度実績)



世界自然遺産の自然環境を守り  
新しい地域づくりをめざして

屋久島環境文化財団は、屋久島環境文化村構想を推進する中心的な組織として、平成5年3月に鹿児島県、旧上屋久町、旧屋久町の出捐により設立されました。平成5年12月にわが国初の世界自然遺産として登録された屋久島には、人類共有の財産として未来に引き継ぐべき豊かな自然が息づいています。財団は、この屋久島の優れた自然を守り、自然と共生する新しい地域づくりを進めるために事業に取り組んでいます。

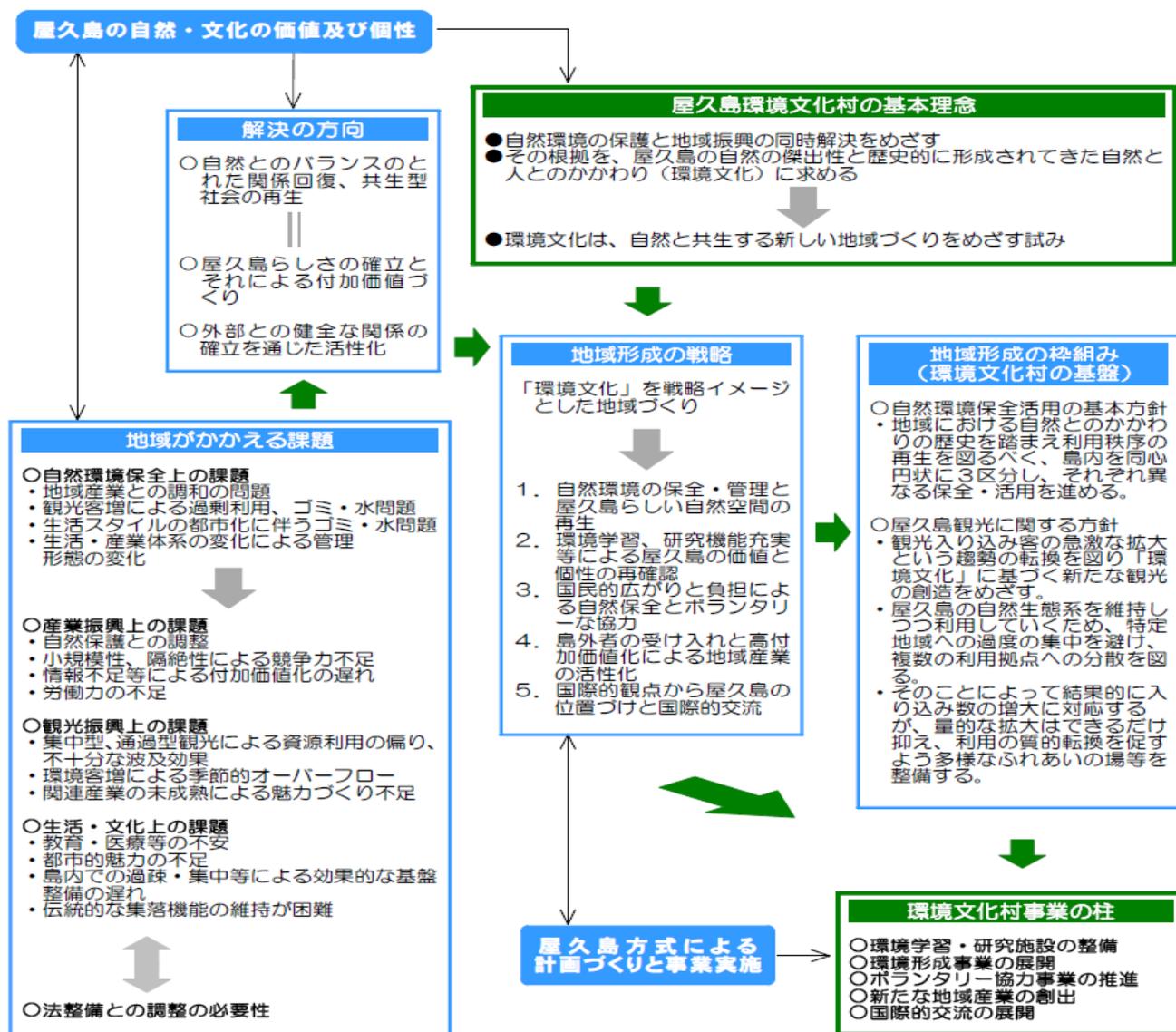
公益財団法人 屋久島環境文化財団

今から約20年前、「屋久島環境文化懇談会」「屋久島環境文化村研究会」「屋久島環境文化村マスタープラン研究委員会」の3つの会合を経て、「屋久島環境文化村構想」ができあがりました。これは、評価の高い自然環境とその自然を損なうことなく何千年にもわたって積み重ねられてきた屋久島特有の生活文化(これを「環境文化」と呼んでいます。)をイメージとして掲げ、環境学習や研究によってその価値を見直すことをとおして、屋久島の自然環境を保護しながら、屋久島に住む人々の経済的な豊かさにもつなげていこうとするものです。

屋久島環境文化財団は、この「屋久島環境文化村構想」を推進する中心的な組織として、1993年3月に設立されました。以来、多くの方々のご支援、ご協力を賜りながら様々な事業を展開し、2013年3月、20年を迎えました。

## 屋久島環境文化村構想

屋久島環境文化村構想は、国際的にも学術的評価の高い屋久島の自然環境と自然を損なうことなく何千年にもわたって積み重ねられてきた屋久島特有の生活文化(これを環境文化と呼んでいます)を戦略的イメージとして掲げ、学習や研究によってその価値を見直すことを通して、屋久島の自然環境の保全を図るとともに自然と人とが共生する屋久島ならではの個性的な地域づくりの試みです。



# 環境学習事業

## ○自然・文化体験セミナー「屋久島物語」の実施

6回開催（「まるごと屋久島研修講座（里）（山）」、「こども屋久島大冒険」など）

参加人数 のべ 100人



## ○里のエコツアー「世界遺産の里めぐり」の実施

1回開催 口永良部島

参加人数 のべ 13人

## ○ふるさとセミナーの実施

「研修センターオープンデー」「冒険しよう」など

参加人数 のべ 407人



## ○屋久島研究講座

5月 第1回 「PM2.5って何？正しい理解のために」

8月 第2回 屋久島の昆虫～こんなことがわからない～

10月 第3回 屋久島魚大全

参加人数 のべ 231人

## ○出張屋久島研究講座

5月 野草知る集い 春牧区（21人）

## ○屋久島高等学校環境学習支援

地元高校生の環境学習活動への支援



## ○屋久島子どもエコ隊の実施

3回開催 「7000年の森ポイントラリー」、「森クラフト」、「タイドプール観察」、  
など

参加人数 のべ 56人



## ○環境学習受入事業

宿泊研修 67団体 3,086人

一日研修 32団体 587人

短時間研修 7団体 221人

## ○小学校環境学習支援

学習補助教材として、「図説屋久島」の贈呈

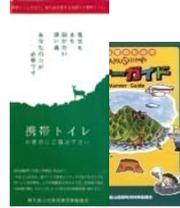


# 環境形成事業

## ○山岳部利用対策

- ◇縄文杉周辺登山指導…縄文杉デッキにおける登山者マナー指導
- ◇山岳部環境保全募金啓発活動…山岳部環境保全募金への協力呼びかけ
- ◇啓発パンフレットの印刷・配布

島内外での「Yakushimaマナーガイド」配布  
「携帯トイレ」利用啓発リーフレット配布



## ○環境保全活動の支援

- ◇研究費支援（屋久島生物多様性保全研究活動奨励事業）

屋久島まるごと保全協会 手塚 賢至（ヤクタネゴヨウ・西部、南部のシカ柵設置）  
九州大学農学研究院 幸田 良介（やくすぎ）  
北海道大学 寺田 千里（ヤクシカの遺伝的多様性の評価）  
屋久島町八幡小学校（知ろう！守ろう！屋久島）

- ◇各種団体支援

屋久島生物多様性保全協議会

希少種の保全活動（ヤクタネゴヨウ、ヤクシマカワゴロモなど）

ヤクシカの調査・研究

その他屋久島における自然環境保全活動

NPO法人屋久島うみがめ館

ウミガメの個体調査、ウミガメの保全、遮光林の管理

ウミガメ産卵地海岸清掃

屋久島町

ヤクシカの生息個体調整（野生生物生息環境保全等対策支援事業）



## ○自然保護活動

- ◇うみがめ保護

遮光林維持管理・海岸清掃活動・マリンワーカー事業（環境省委託事業）

- ◇屋久島の動植物の調査事業

「屋久島の昆虫ガイド」の改訂



## 交流推進事業

### ○屋久島通信，まるりん通信の発行

- 屋久島通信……年3回 12ページ 各3000部発行  
対象：全国のファンクラブ会員，関連機関など  
まるりん通信…年12回 2ページ 各6500部発行  
対象：島内

### ○屋久島ファンクラブの運営

2012年3月末会員数 868人

### ○ボランティアネットワークの構築・運用

- 山岳部保全募金への啓発活動協力  
財団イベントへの協力（開館記念など）  
山小屋，海岸清掃活動への参加

#### ◇活動支援

割り箸等のリサイクル推進（何かやってる会）（屋久島環境ボランティア活動支援事業）

### ○環境文化芸術活動支援

- エコツーリズム推進法に基づき、全体構想策定の協議  
「まるりんカップ」の開催  
全国離島交流中学校野球大会の代表選考会（3チーム参加）

### ○財団ホームページ（<http://yakushima.or.jp/>）の管理運営

日本語，英語，中国語，韓国語，フランス語



## 屋久島地域づくり推進事業

### ○地域づくり活動支援

- やくしま夏まつり  
屋久島ご神山まつり  
屋久島町まちづくりタスクフォース  
超自然屋久島ソーデーマーチ実行委員会  
一湊青年はめつけ隊

### ○新特産品開発プロジェクト事業

- ◇開発支援  
宮之浦加工部（ゼリーの3個パッケージの開発）  
◇その他の支援  
関西かごしまファンデー参加支援（2団体）  
伝統料理教室の開催  
参加人数 1回開催 のべ34人



## 国際交流事業

### ○日新交流事業

屋久島町が実施するニュージーランド交流派遣事業への支援

### ○鹿児島大学留学生ホームステイ受け入れ

外国人留学生10人を平内集落で受入



# 屋久島環境文化村中核施設管理運営等事業

○屋久島環境文化村センター及び屋久島環境文化研修センターの運営



屋久島に関する総合的な情報の提供  
交流・案内の拠点施設（ビジターセンター）



屋久島をフィールドとした環境学習  
のための宿泊研修施設

- ◇開館記念イベントの開催  
村センまつり（村センター交流ホール）  
理科実験・映画の上映（子供向け・大人向け）  
研修センターオープンデー  
理科実験・映画の上映（子供向け）



- ◇電気自動車，文化村センター展示ホール  
音声ガイドペン（日本語・英語）の導入



## 書籍物販等販売事業

◇屋久島に関する図書や財団オリジナルグッズ（手ぬぐい、ストラップ等）の販売



## 屋久島ファンクラブ会員・賛助企業募集中

屋久島環境文化財団では、世界自然遺産の島屋久島の素晴らしい自然を、未来へ引き継ぐための様々な活動を協力支援していただくために、「屋久島ファンクラブ」会員、「賛助企業」を募集しています。  
いただきました会費及び賛助金は、屋久島の環境保全や、環境文化芸術支援などに利用します。



## 公益財団法人 屋久島環境文化財団について

公益財団法人屋久島環境文化財団は、「屋久島環境文化村構想」を推進するため、資金や情報の蓄積を進めながら柔軟に多様な活動に対応する中心組織として、平成5年3月に、鹿児島県・上屋久町・屋久町(平成14年合併後は屋久島町)の出捐により設立されました。

その後、公益法人改革により、平成24年3月に公益財団法人の認可を受け、同年4月1日に公益財団法人に移行するとともに、名称を公益財団法人屋久島環境文化財団と改め現在に至っています。

現在、財団の会長は伊藤祐一郎鹿児島県知事、理事長は井形昭弘名古屋学芸大学学長(元鹿児島大学学長)が就任しています。

### 1 財団の事業概要

#### (1) 目的(定款第3条)

鹿児島県が整備する屋久島環境文化村の施設の管理運営を行うとともに、環境学習や環境保全活動の推進・支援を通じ、屋久島の豊かな自然とのふれあいの中で人間の活動と環境とのかかわりや自然の恵みについて学習する拠点を形成し、もって自然環境の保全に寄与することを目的とする。

#### (2) 事業内容(定款第4条)

- ① 屋久島環境文化村中核施設の管理運営事業
- ② 環境学習資材の作成提供及び環境学習事業の企画実施
- ③ 研究者ネットワーク・ボランティアネットワークの運営、シンポジウム・フォーラムの開催運営及び環境問題や環境保全活動に関する機関誌等の発行
- ④ 森林の修復造林のための苗木配布等自然保護事業
- ⑤ 環境保全に関する普及啓発及び調査研究
- ⑥ 環境保全に関する情報の収集提供
- ⑦ 環境保全に関する相談・指導
- ⑧ 環境保全に関する諸行事の後援・助成
- ⑨ その他目的を達成するために必要な事業

### 2 財団の運営

財団は、基本財産の運用益とファンクラブ会費及び企業等の賛助金などの収入により運営されています。

基本財産は、県、屋久島町(合併前の上屋久町及び屋久町)からの出捐金と、屋久島環境文化村構想の趣旨に賛同される民間企業や一般の方々からの寄付からなり、目標額を10億円としています。財団発足時に予想もしていなかった日本経済の低成長や低金利政策の長期化などにより、計画通りに進まない状況にあります。

### 3 財団の事業

財団は、屋久島のすぐれた自然を守り、自然と共生する新しい地域づくりを支援するため、環境学習、環境保全、地域づくり、交流推進などの事業を行っています。

また、鹿児島県の指定管理者として、屋久島環境文化村中核施設の管理運営を受託しています。



未来に伝えたい、屋久島の自然と文化を

